

事前評価調書

I 事業概要																																															
事業名	道路事業（無電柱化事業）																																														
地区名	主要地方道 <small>こうぼせん</small> 国府馬場線																																														
事業箇所	豊川市 <small>とよかわし</small> 諏訪西町2丁目 <small>すわ</small> 諏訪3丁目																																														
事業のあらまし	<p>当該事業箇所は、豊川市街地内で、豊川市役所、豊川市民病院等の災害時の拠点施設を結ぶ第二次緊急輸送道路に指定されている重要な箇所である。</p> <p>このことから、本事業は電線共同溝を整備することにより、地域の防災性強化を図るものである。</p>																																														
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①地域の防災性強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																														
事業費	事業費			内訳																																											
	9.0億円			■工事費 8.8億円、□用補費 0.0億円、■その他 0.2億円																																											
事業期間	採択予定年度	2021年度	着工予定年度	2023年度	完成予定年度	2027年度																																									
事業内容	電線共同溝整備 L=1100m（整備延長）																																														
II 評価																																															
①事業の必要性	1) 必要性	本事業箇所は第2次緊急輸送道路に指定されており、災害拠点を結ぶ重要な箇所であるため、地域の防災性強化のために電線共同溝の整備が必要である。																																													
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																																												
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>→</td> <td>8.8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">5.5</td> <td colspan="3">3.5</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table>										2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種区分	調査・設計	←	→						0.2	工事			←	←	←	←	→	8.8	事業費（億円）		5.5			3.5			9.0
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																					
	工種区分	調査・設計	←	→						0.2																																					
		工事			←	←	←	←	→	8.8																																					
事業費（億円）		5.5			3.5			9.0																																							
2) 地元の合意形成	現況道路用地内の事業であり、用地買収は不要であるため、地元の合意形成は円滑に図られる見込みである。																																														
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。																																													

	<p>【理由】 事業執行環境は整っており、実効性が期待できるため。</p>
Ⅲ 対応方針	
事業実施が妥当である。	<p>事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。</p>
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 ・防災上の支障となる要素の解消</p>	